

# 女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて — 獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために —

## 1 はじめに

今後の我が国の発展には「女性の活躍」が大きな柱となるという考えのもとに、平成 25 年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略」では、女性が輝く日本を構築するための政策が掲げられ、「職場復帰や再就職の支援」、「女性役員や管理職の増加への数値目標」等が示されている。私たち獣医師の各職域においても、女性の活躍促進の必要性はかねてから指摘されてきた。

女性獣医師の割合は近年特に増加している。平成 24 年 12 月末現在の農林水産省の集計によれば、獣医師全体に占める女性の割合は 27%であるが、年代別にみると 20 代では 45%、30 代では 48%と、若い世代では約半数が女性である。全国 16 の獣医学系大学に在籍する獣医学生の約半数が女子学生であることから、近い将来、女性獣医師と男性獣医師の割合は均衡していくものとみられる。

一方、同集計によれば、20 代から 50 代の女性獣医師の約 7%は無職であり、男性獣医師の約 1%との差が際立っている。このことは、女性獣医師が出産、子育て等のために離職し、その後、様々な理由により再就職が進まないことによるものとされている。

このような状況を分析して要因を明らかにし、女性獣医師がより働きやすい環境づくりをめざすことは、すべての獣医師が働きやすい環境づくりにつながり、獣医師全体のワーク・ライフ・バランスの改善に資することから、日本獣医師会では、藏内勇夫会長直轄の特別委員会として、平成 25 年 9 月に女性獣医師支援特別委員会を設置し、平成 27 年 5 月まで議論を重ねてきた。

平成 26 年 1～2 月に農林水産省の補助を受けて「獣医師の就業環境等に関する現況調査」を実施し、その結果の概要や委員自らの経験等をもとに議論を進め、平成 26 年 10 月に、現状と課題、必要と考えられる対策等について「女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて—獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために—（中間報告）」としてまとめた。

その後も調査結果の詳細な分析等を進め、平成 27 年 2 月には、平成 26 年度獣医学術学会年次大会（岡山）にて、シンポジウム「すべての獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて—女性獣医師の就業現場から—」を開催し、女性獣医師支援特別委員会の活動報告、各職域を代表する委員の現状、課題等についての発表、総合討論を行って、広く意見を聴いた。

本報告書は、シンポジウムの成果も含め、これまでの議論の結果をとりまとめ、今後の対応や具体的な取り組み等について提案するものである。